※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　（学）総合

教科	総合	科目	産業社会と人間	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	「一生使える探究のコツ　入門編」トモノカイ						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「産業社会と人間」とは、自分の将来を見通すために、探究的な学びの基礎的カリキュラムとして、シンキングツールやディベート等、探究のプロセスに必要な知識や技能を習得しながら、探究サイクルを何度か経験し、探究とはどのようなものかを知るよう計画されています。たくさんの経験を通して，自分の将来の道筋を決定しましょう。

２　学習の到達目標

・「論理的思考力」「批判的思考力」など必要な知識や技能を身につける。
・自ら発見した問を調査・研究・思考・発表を通じて、思考・表現する力を身につける。
・社会の中で自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。また、自己の充実や生きがいをめざし、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究メソッドの習得において、「論理的思考力」「批判的思考力」など必要な知識や技能を身につけ、探究の意義や価値を理解する。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、調査・研究・思考・発表の手法に慣れ、プレゼンテーション力や表現力を身につける。これらを通して、自らの生き方や将来に対する見通しを持つことができる。	実社会の課題を、知識・技能を活用・発揮しながら、多様な他者と協働して解決に向かおうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	課題の設定	・自己の興味・関心を知り、それに基づいた問いの設定を行う。また、他者との情報共有等を図る中で、問いを深める。 ・仮説の立て方を学び、研究計画表を作成する。	a:探究課題の解決に向けた探究手法を理解し、また社会の諸課題の現状を把握している。 b: 社会の諸課題から自ら問いを見出し、多面的・多角的な視点や考え方を用いて仮説を立てることができる。 c:探究課題の設定や研究計画表の作成に主体的・協働的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート 観察	観察
	情報の収集	・研究計画表に基づき、観察、実験、調査（FW）、文献やインターネットを利用した情報収集等を実施する。	a:探究課題の解決に向けた情報を、多面的視点から収集する技能を身に付けている。 b:仮説を検証するデータとして妥当なものであるか、判断することができる。 c:情報の収集に主体的・協働的に取り組んでいる。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察
2学期	整理・分析	・観察、実験、調査（FW）、文献やインターネットを利用した情報を整理・分析し、仮説の検証、考察を実施する。 ・中間発表を実施する。 ・中間発表の講評を踏まえ、情報の精査等を実施し、最終発表への改善を図る。	a:仮説の検証に必要な情報を整理・分析するための知識・技能を身に付けている。 b:情報の整理・分析を通して、仮説を検証し、論理的に分析している。 c: 情報の整理・分析に主体的・協働的に取り組んでいる。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察
3学期	まとめ・表現	・研究のまとめ、発表を実施する。 ・クラス発表を行い、全体に発表に向けた修正等を図る。 ・最終発表会を実施する。 ・研究のまとめを実施し、一年間の探究学習を振り返るとともに、次年度の探究学習への動機づけを図る。	:研究のまとめ・表現を通して、探究学習に必要な知識・技能を認識するとともに、社会の諸課題に関する知識を身に付けている。 b: 社会の諸課題に現状に対して、多面的・多角的な視点から考察し、表現している。 c:研究のまとめや発表に対して主体的・協働的に取り組み、自己と社会とのつながりを意識したうえで、新たな価値を創造し、よりよい社会を切り拓くための態度を身に付けている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度